

彩色いろいろ

「自由ってどういうこと??」

『自由』、この言葉にどんなイメージをお持ちですか。

「何でも自分の好きなようにしていいこと」、だいたいこんな感じでしょうか。自分の好きなようにして構わないの中には、「楽な方を選択する」そうした自由も含まれるとします。子どもたちも時に、「勉強しようがしまいが、僕(私)の勝手だ」とか「ゲームを何時間するのを決めるのは僕(私)の自由だ」なんてことを言ったりもします。

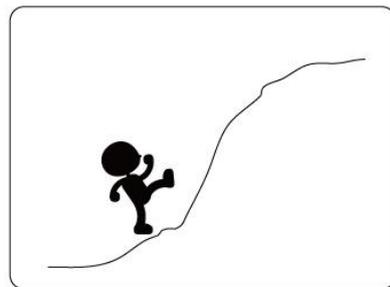
ですが、こうした楽な方向への自由の捉え方が、人生をむなししいと感じるいわゆる虚無感をうみ出すとも言われています。現在の日本は、幸か不幸か、何もしなくても生きていくことだけは出来る社会です。何もしなくても、日常は過ぎていくのです。

『明治は良かった』

と言われています。(司馬遼太郎氏の小説の中にも出てきます。)

10年毎に大きな戦争に関わっていた日本。庶民は重税という負担だけでなく、一家の大黒柱が戦争に行かねばならない時代でした。今の日本と比べれば暗黒とも言えるでしょう。でも明るかった。それは、明治維新後、欧米に追いつこうとする期待と希望、その中には苦勞を苦勞と思わない感情が生まれていたのかもしれない。

流行り(!?)のアドラー心理学では、人生における坂道を登る、その登る行動の中に自由があると唱えられています。坂道を登り続けるのは、時につらく大変です。でも自分のペースで自由に登り続けるべきだと言います。自分で登るペースを落とす、別なルートに変える、それでもいいのだと。



子育てにおいて、『放任主義』という言葉があります。子どもの自由に好きにさせる、ということの意味するのですが、それは決して楽な道を選ぶ自由でないことを子どもに伝えておくのも大人の役割です。小さな一歩でも構わない。でも成長につながる一歩にする、ということ考えた場合、進むべき道は決して楽な道では無いはずです。

「成長につながる道を自由に選ぶことができる」、ここに自由の本当の意味があると思っています。

教室の風景

やることリスト

こんにちは 山本です。

新年度が始まりました。我が家では息子が新小学1年生になりました。上の子とは7つ離れているんですが、やっと自分で学校に行ってくれる〜と、少しホッとしたのもつかの間。学校が始まって一週間が過ぎた頃、「来週からは時間割見て教科書用意するんだよ〜」というと、「時間割って何?」、あっ、時間割なんてまだ知らないよね。「時間割ってね…、1時間目算数、2時間目国語、算数と国語は教科書とノートを持って行くんだよ」と、教えておいたはずが、全く違った物を入れていたり、肝心な物が入ってなかったりと必ずこちらが確認しないとダメでした。こちらもいちいち言っては疲れてしまいます。そこで『やることリスト朝バージョン、夜バージョン』を作ってみました。

これが効果的で、私もビックリしたんですが、何も言わなくても自分で出来るようになったんです。

息子も子供とはいえ人間。朝起きて私のマシンガントークで忘れ物無い? ご飯早く食べなさい、着替えはまだ? 歯磨きは? 帰宅するなり、早くお風呂入っちゃって、早くご飯食べて、時間割そろえて、歯磨きして来て、とこれでは私でもウンザリです。

今回のやることリストは、やらなきゃいけないことを自分のペースでやれば良いということで本人も納得できたようです。

ただ変わらないことがあります。

お風呂入りなさいと言うと、

「昨日入ったんだからいいじゃん!」

息子よ、風呂は毎日入るんです!! (^_^)



インストラクター 山本英美

作品★紹介



『災害救助車』

ヘリコプターの羽根がついているため、空から救助に向かうことができます。



『なまけもの』

なまけものの、なまけてる感がよく出ていますね(^^)。



『屋根の開く家』

タイルブロックを使って屋根が開閉できるようになっています。天気の良い日は快適です。